



第156回本場所二日目、最後の白星を僚友魁電からもぎ取った。歴戦の傷跡は痛々しく、体力、気力も限界を迎えようとしていた。

特に忘れられないのは二番。美空関が新横綱の場所、長い相撲になって、最後はわしが上手投げで勝った相撲。
それから、147回でわしが千秋楽に勝ち越しを賭けて対戦した相撲。もしもこの時、わしが負けていたら、美空関より引退が早まったかも知れない。
美空関は本当に強く、なかなか美空関の成績を上回る事ができず、西の横綱に甘んじざるを得ない苦しい時代が続いた。ただ、それだけ美空関は強かった。
まだまだ美空関とは対戦したかったが、引退してしまうのは本当に寂しい。
美空関、長い間、お疲れ様でした。
◆春日根親方(元小结隆山)
横綱! 美空富士関! 体調の悪化に苦勞させながらも、最後まで美しい左差し相撲をみせてくれました。今でも、新入幕で全勝優勝されたあの歓声が耳から離れません。弟子の千代鈴も、横綱が全盛期のころの対戦がありませんので、挑戦できたとしたら、きっと差されてしまったと、そして、横綱のような華麗な左差しを今でも目に焼き付け、稽古に励みますと言っています。
帰省中の稽古では、様々な体質改善に臨んだこと。痛みも激しかったことと察します。先場所の、差されてからもその体制で寄り切る場面を目にしたとき、新美空で復活と練馬国技館も沸きに沸きました。
今後は、長年の治療から解放され、美空関のDNAを引き継ぐ新弟子育成に務められることでしょう。
今度是非、親方の桐壺さんと荻窪・中野のカップで美空関の華麗かつ力強い相撲談義を企画させていただきます。今後とも、お身体ご自愛ください。

【永久保存版】美空富士初土俵～引退全対戦成績

初日 二日 三日 四日 五日 中日 七日 八日 九日 十日 千秋楽		初日 二日 三日 四日 五日 中日 七日 八日 九日 十日 千秋楽		
百十四回	東大関 18	三勝二敗	東大関 24	全勝
百十五回	東大関 18	四勝一敗	東大関 24	五勝四敗
百十六回	東大関 18	四勝一敗	東大関 24	八勝三敗
百十七回	東大関 19	四勝一敗	東大関 24	八勝三敗
百十八回	東大関 19	四勝一敗	東大関 24	七勝四敗
百十九回	東大関 19	三勝二敗	東大関 24	十勝一敗
百二十回	東大関 20	八勝三敗	東大関 24	七勝四敗
百二十一回	東大関 20	八勝三敗	東大関 24	全勝
百二十二回	東大関 21	八勝三敗	東大関 24	十勝一敗
百二十三回	東大関 21	八勝三敗	東大関 24	八勝三敗
百二十四回	東大関 22	六勝四敗	東大関 24	七勝四敗
百二十五回	東大関 22	十勝一敗	東大関 24	一勝二敗
百二十六回	東大関 22	九勝二敗	東大関 24	五敗
百二十七回	東大関 23	七勝四敗	東大関 24	六勝五敗
百二十八回	東大関 23	八勝三敗	東大関 24	七勝四敗
百二十九回	東大関 23	八勝三敗	東大関 24	一勝四敗
百三十回	東大関 24	八勝三敗	東大関 24	引退